

整備効果の考え方

1. 検討目的
2. 整備効果指標(案)

1. 検討目的

5つの整備する施設によって発現が期待される整備効果について整理する。なお本検討会では、定量的な効果の把握が可能と考えられる「集約型公共交通ターミナル」としての新バスターミナルとデッキの整備効果や、三宮クロススクエア整備による防災効果を中心に把握する。

駅前空間の課題

駅やバス乗降場の分散

わかりにくく円滑でない歩行者動線

不十分な待合空間

まちの機能更新の遅れ

歩行者や自動車の混雑

災害時の一時滞在施設の不足

目指す姿

ひと・モノ・交通が行き交う新たな“港”＝未来型駅前空間

4つの基本コンセプト

人の交流の拠点となる象徴的な空間に

交通とモノが行き交う新しい交通結節点に

進取の気性あふれる環境に

神戸が培ってきた経験や知恵を活かした空間に

5つの整備方針

①魅力的な駅前空間の整備及びまちの回遊性向上

②中・長距離バスターミナル整備によるモーダルコネクットの強化

③まちの防災拠点

④未来志向の移動支援導入

⑤国道2号周辺の交通円滑化

5つの整備する施設

■ 魅力的な駅前空間を創出する三宮クロススクエア

■ 人の賑わいと回遊性を創出するデッキ

■ 集約型公共交通ターミナル

■ 防災都市・神戸の駅前防災拠点

■ 回遊性を向上させるモビリティネットワーク

施設をつなぐ動線

3層ネットワーク(デッキ・地上・地下)

2. 整備効果指標(案)

「国道2号円滑化」、「安全性の向上」、「バス利用者の利便性向上」、「防災機能の向上」、「三宮駅前の開発効果」に関する8指標について、定量的に効果を把握する。

■ 課題・対策・効果の体系的整理 (案)

